

環境部における随意契約の実績 (平成29年度2/四半期分)

単位:円

No.	担当課	契約の名称	契約日	契約金額	契約の相手方の名称	契約の相手方の住所	地方自治法 施行令(根拠)	契約の相手方の選定理由	その他
1	環境政策課	基地返還に係る人材育成業務委託	平成29年9月6日	11,994,480	いであ沖縄(株) 沖縄支社	沖縄県那覇市安謝二丁目6番19号	第167条の2第1項第2号	企画競争方式により公募を行ったところ、1社からの応募があった。企画提案プレゼンテーションを実施し、選定委員会において、研修会等の運営体制、マニュアル整備能力について審査を行った結果、当該委託業務を遂行するに足ると判断されたことから、左社を優先交渉権者とした。その後、業務委託契約について必要な協議を行い、合意に至ったことから、随意契約を締結した。	
2	環境政策課	平成29年度環境保全措置効果検証事業委託業務	平成29年8月31日	4,147,200	(株)エコー 沖縄事務所	沖縄県那覇市真嘉比3丁目2番18号	第167条の2第1項第2号	沖縄県沿岸域における流況シミュレーションシステムの設計・運用については、開発業者である共同企業体以外では、本業務の内容に対応できないことから、共同企業体構成員に見積もりを依頼し、その中から一番低い金額を提示した当該業者を選定した。	
3	環境整備課	平成29年度沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業に係る委託業務	平成29年8月16日	23,348,520	日本エヌ・ユー・エス(株)・(株)沖縄環境保全研究所 共同企業体 ①日本エヌ・ユー・エス(株) ②(株)沖縄環境保全研究所	①東京都新宿区西新宿7丁目5番25号 ②うるま市字洲崎7丁目11番地	第167条の2第1項第2号	当該事業を受託する事業者には、廃棄物処理や海岸漂着物対策に係る専門的知識及び最新の知見、広範囲にわたる資料や情報の整理・分析、高度な技術力や構想力、多くの関係者と円滑に事業を進めるための調整力等が必要となる。そのため、事業の継続性を担保しつつ効率的・効果的に推進するため、前年度と同一の社を契約の相手方とした。なお、選定にあたっては、公募型企画競争方式(プロポーザル方式)により委託業者を決定した。	
4	自然保護課	平成29年度ノイヌ・ノネコ対策業務委託業務	平成29年8月29日	21,368,584	NPO法人どうぶつたちの病院沖縄	沖縄県うるま市前原308番地7号メゾン季205号室	第167条の2第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ2事業者から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、左記法人の得点が他社を上回り、業務内容も優れていると審査されたため、契約の相手方として選定した。	
5	自然保護課	成犬譲渡促進事業委託業務	平成29年8月2日	2,616,000	成犬譲渡促進事業コンソーシアム ①(一財)沖縄県公衆衛生協会 ②井上愛犬訓練所	①南城市大里字大里2013番地 ②南城市玉城中山1058番地	第167条の2第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ当該事業者から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ採択の要件を満たしていたため、契約の相手方として選定した。	

環境部における随意契約の実績（平成29年度2／四半期分）

単位:円

No.	担当課	契約の名称	契約日	契約金額	契約の相手方の名称	契約の相手方の住所	地方自治法 施行令(根拠)	契約の相手方の選定理由	その他
6	環境再生課	平成29年度環境配慮型による緑化木保全対策検討委託業務	平成29年8月15日	11,982,600	(株)沖縄環境分析センター	沖縄県宜野湾市真栄原3丁目7番24号	第167条の2第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ左記業者1者から応募があり、企画提案内容等を選定委員会において、企画内容、業務計画・遂行体制等について審査したところ、合格基準(満点の60%)を満たしていたため、契約の相手方として選定した。	